

貯金と借入金の状況



僕らの水道料金で経営をしているんだね。貯金はどれくらいあれば大丈夫なの？



貯金残高は、災害や大規模な修繕などに備えるため、料金収入の1年分を目安に、津市では約50億円必要だと考えているよ。でも今年度末には50億円を下回ってしまいそうなんだ。

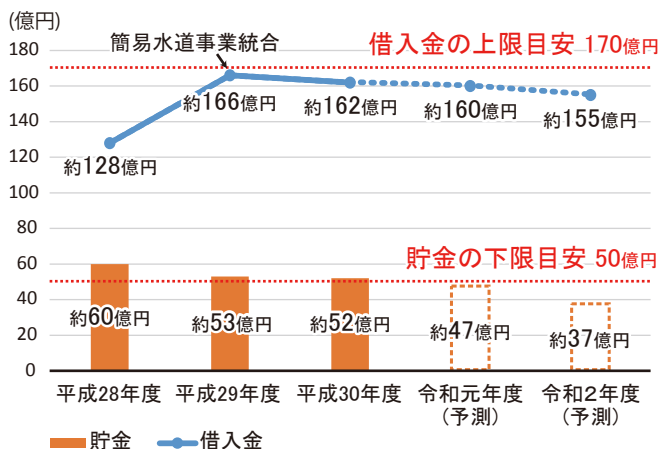


古い施設を新しくするのも全部この貯金を使うの？



老朽化した施設の更新や耐震化を進めるための財源として借入金もあるんだよ。健全な借入金を目安としては、津市と同規模の事業者の平均を見ると料金収入の3倍以内なので、津市もこれを超えないように170億円を目安に経営してきたんだけど、すでに約160億円借り入れているんだ。

貯金と借入金



貯金もだんだん減っていくし、借入金もこれ以上増やせないから水道事業は大変だね。

津市の水道料金は県下14市中3番目の安さ！

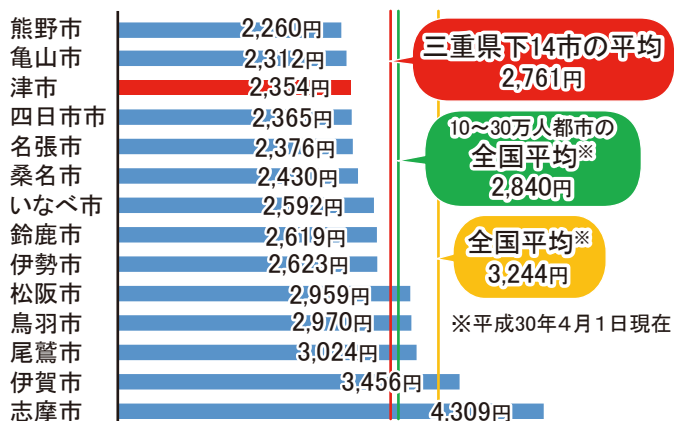


ところで、経営をしていくのに大切な水道料金はそれぞれの市が決められているの？



水道料金は各事業者が、安定した経営を行うことができるように決めていて、それぞれ違うんだ。県内の水道料金を見てみよう。

三重県下14市の水道料金



(平成31年4月1日現在、税込み、口径13mm・1カ月に20㎡使用)



津市は水道料金が安いんだね。これからも貯金は減っていくのに大丈夫なの？



このままでは、支出が増えて収入は減っていくから、安全で安心な水道水を届け続けることが難しくなってくるよ。このことをしっかりと認識して、必要な施設の更新や耐震化を進めるためにどれくらいの収入が必要なのかを計算し、適正な水道料金で健全な経営を維持しなければいけないだよ。

第2次津市水道事業基本計画では、令和3年に水道料金の改定が必要だという試算が出ています。

次号では平成30年度決算を基に、これからの水道事業経営についてより詳しく説明します。



今の水道を維持することはもちろん、50年先、100年先の世代まで安定して水道水を届け続けるのは、今を生きる私たちの責任です。